

時間内組合活動

7月実施を提案

5月30日、一組当局より一組総支部に対して時間内組合活動の見直し提案がありました。既に東京清掃本部と妥結し、統一交渉事項については6月1日から実施される内容と基本的には同じ内容となっています。

それ以外の今回の一組の提案内容は次のとおりです。

- 実施時期 7月 1日
- 回答期限 6月13日
- 組合職免の勤勉手当への影響
 - 4時間を超える場合 1 / 2日除算
 - 4時間以下 1 / 3日除算

交渉はこれまでどおり、有給の職免が取れます。しかし、その交渉の回答をするために必要な機関会議は時間内に行えば賃金カットをするというのは組合活動を経済的に締め付け、弱体化を狙う組合弾圧です。労使対等の立場を放棄した組合攻撃だと言わざるをえません。

総支部大会で対応策

組合活動をめぐる他の自治体での動向も無視できませんので、今回の提案への対応策も準備する必要があります。一組総支部としては時間内組合活動のあり方が変わった場合の組合活動のあり方を考え、具体的な対策を立てるために臨時大会を6月29日に開催する予定で準備にはいっています。

支部としても支部大会、支部委員会、支部執行委員会の持ち方、また交渉にやり方について再検討が迫られます。

支部委員 決まりました

4月の定期異動により支部委員が2名欠員になっていましたが、次のとおり決まり、6月からこの顔ぶれで支部委員会を開催します。

総務部企画室	高津	雅幸
施設管理部管理課	木戸場	惣次郎
同 技術課	武田	新栄
同 同	藤野	洋平
施設建設部建設調整課	鈴木	芳夫

人権推進委員会から

差別実態調査にご協力を！

東京清掃全体で2007年清掃職業差別実態調査を行いますので、全組合員のご協力をお願いします。(裏面参照)

私たちの清掃の職場では1995年に千歳事業所で差別メモ事件、2002年には中野事務所で差別落書き事件と部落差別が相次いで起きました。その部落差別の取り組みを通じて、自らに掛けられている職業差別である清掃差別についても考え、取り組んできました。組合員一人ひとりが差別に対する認識を深め、差別について職場で仲間と話し合える関係を作るために、三年前に清掃差別意識実態調査を行いました。今回2回目の取り組みになります。簡単なアンケートですので、記入の上、部の執行委員、支部委員に6月6日までに渡してください。

夏季休暇 昨年どおりで決定

5月30日に一組総支部は一組当局に対して夏季休暇の改善要求を提出しました。

昨年16日勤務の再雇用職員の夏季休暇から一日増え、4日となりましたが、今年は全体の日数増を要求しました。

結果としては以下のように昨年どおりで決まりました。

- 日数
 - 一般職員フルタイム再任用 5日
 - 短時間再任用 4日
 - 再雇用16日 4日
 - 再雇用13日 3日
- 承認期間 7/1~9/30
- 半日単位は2回が限度